

令和8年度「全日本中学生水の作文コンクール」茨城県審査 募 集 案 内

平成26年7月に施行された水循環基本法において、8月1日が「水の日」と定められました。また、8月1日から1週間は「水の週間」とされており、水の貴重さや健全な水循環の重要性等について、国民の皆様に理解と関心を深めていただくために、国及び地方公共団体では様々な取り組みを行っています。

茨城県では、この事業の一環として、次代を担う中学生を対象に水の作文コンクールを実施します。

1 テーマ 「水について考える」（作文の題名は自由）

“水の惑星”と呼ばれる地球。でもその水は、無限ではありません。海から蒸発して雲になり、雨や雪となって地上に降り、川から再び海へと循環しているのです。

地球上をめぐる限られた水を、人々は身近な生活のほか、農業や工業など多くの場面で便利に使っています。その一方で、ときには洪水や水不足の被害に見舞われることもあります。

水の恵みを利用し、災害を防ぐために、はるかな昔から現在まで、人々はさまざまな努力をしてきました。水とのつきあい方の工夫は、町のいたる所で目にすることができます。

あなたにとって、水とはどんなものですか？暮らしのなかでの体験や、授業で学んだことや調べたことをもとに、水についての考え方作文にまとめてみましょう。

2 応募資格

令和8年度に県内の中学校、中等教育学校1～3年次及び義務教育学校7～9年次に在学中の者

3 応募内容

(1) 原稿枚数

400字詰原稿用紙4枚以内で日本語により表記された個人作品（手書き・電子いずれも可）に限ります。

作文には、本文の前（原稿用紙枠内）に題名、学校名（ふりがな）、学年、氏名（ふりがな）を記入してください。

別添記入例を参照してください。

(2) 応募作文

応募作文は自作の未発表のものに限ります。なお、生成AIによる生成物は認められません。

応募作文の使用権は、茨城県及び水循環政策本部、国土交通省に帰属します。

応募作文の返却は行いません。

(3) 応募方法

個人応募の場合は、作品を紙もしくはデータにて、10の送付先へ送付してください。

学校単位でまとめて応募する場合は、作品を紙もしくはデータにて、送付票（別紙様式）と併せて10の送付先へ送付してください。なお、校内選抜は

求めません。

(4) 応募締切日

令和8年5月8日(金) 到着分有効とします。

4 審査

(1) 茨城県審査

茨城県審査会において優秀作品を選定します。

(2) 中央審査

茨城県審査により選定された優秀作品のうち、上位5編は、国土交通省で実施される中央審査に推薦します。

5 茨城県審査の審査基準

別記1のとおり

6 賞及び副賞

別記2のとおり

7 入賞発表

入賞発表は、5月下旬から6月中に行います。

個人応募及び学校単位の応募いずれの場合でも、所属の校長宛てに結果を通知します。また、7月に報道発表を予定しています。

(入賞作文については、作文のほか、記載された学校名・学年・氏名を国土交通省及び茨城県のホームページや作品集に掲載するほか、報道機関を含めた関係者へも提供することとなりますので、予め御承諾の上、御応募ください。)

8 賞状等の授与

最優秀賞、優秀賞、入選の受賞者及び学校奨励賞の代表者には、茨城県表彰式にて賞状等を授与する予定です。

9 個人情報の取扱い

本コンクールの応募作品に記載の個人情報は、本コンクールの運営に必要な範囲内で利用します。応募者の同意なく、利用目的を超えて利用することはできません。

10 送付先

〒310-8555

水戸市笠原町978-6

茨城県政策企画部水政課「水の作文」担当

電話 (029)301-2625(直通)

E-Mail mizuto2@pref.ibaraki.lg.jp

(別記1)

「全日本中学生水の作文コンクール」茨城県審査 審査基準

テーマ「水について考える」にふさわしく、日常生活体験や学習を通じて得られた内容であって、アからエに適合する内容を有することを基準とする。

ア 水の貴重さ、水源地域、水資源開発、水の様々な用途への安定供給や環境保全等（　）の大切さ等が適切にとらえられていること。

（　）例えば、以下の表に示す項目。

森林による水源かん養	水源地域の人々への感謝、水源かん養のための森林が果たす役割
川の様々な役割	水を利用するための水源、自然環境の保全、人と川との豊かな触れ合い
ダムの役割	洪水調節、水資源開発、観光資源
農業用水、農業水利施設	農業生産を支える水、渇水時の労苦、農業用水が有する多様な機能（水源涵養、生態系保全等）、先人の努力により築かれた農業水利
堰による取水	歴史的な水争い、如何にして川の水を取水しているか
水道	安心して蛇口の水を直接飲むことができる環境を作っている施設の役割の大切さやそこで働いている人たちへの思い
工業用水 ものづくり（産業）と水	ものづくりには豊富な水資源が必要 何故、工場は河川や海の傍に立地するのか
水力発電	再生可能エネルギー、小水力発電の取組
水ビジネス	日本の水技術を国際的に展開することの意義
省水、省エネ化など水に関する技術	工場などでの循環利用による省水化、海水淡水化施設、再生水施設
水質改善、下水処理	川や湖や海の水質改善のために自分たちができる工夫、下水処理の役割
雨水の利用	雨水利用の意義や普及促進のアイデア

イ 将来の夢、提案などが中学生らしくまとめられていること。

ウ 抽象的、観念的なものではなく、地域性や実体験等、具体的な事柄が描かれていること。

エ 字句の正確さや、文章の構成がよくできていること。

(別記2)

「全日本中学生水の作文コンクール」茨城県審査 賞及び副賞

賞	選定数	摘要	賞状	副賞
最優秀賞	1編			副賞を授与することができる
優秀賞	4編			
入選	5編程度	最優秀賞及び優秀賞以外の作文	賞状を授与する	
学校奨励賞	若干校	コンクールに積極的に参加している中学校		

<別添>

記入例

題名	学校名（ふりがな）
学年・氏名（ふりがな）	市立
年	しりつ
水	みず
野	の
作	ちゅうがつ
文	こう
ページ番号を入れる	
紙提出の場合、左上でホチキス止め	

2

1

(別紙様式)

令和8年度「全日本中学生水の作文コンクール」作品送付票

学 校 名

所在地 〒

作文担当教諭名 _____ 全校生徒数 _____ 人

電話番号 _____ FAX番号 _____

E-Mail

【応募総数】

年 編 年 編 年 編 合計 編

校内選抜は求めませんが、推薦作品がある場合は下記に記載してください。

(上限10編程度)